

2018年3月16日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
 コード番号8604
 東証・名証第一部

野村アクセラレータープログラム「VOYAGER(ボイジャー)」 第2期参加企業の決定について

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:永井浩二、以下「当社」)は、第2期となる野村アクセラレータープログラム「VOYAGER(ボイジャー)」(以下「本プログラム」)の参加企業5社(以下「プログラム参加企業」)を決定しましたので、お知らせします。

当社は、株式会社野村総合研究所(代表取締役社長:此本臣吾)および野村不動産ホールディングス株式会社(代表取締役社長 グループCEO:沓掛英二)とともに、ビジネスに関連する社会課題の解決に向けたテーマを掲げ、そのテーマに共感するベンチャー企業からアイデアを広く募集し、本プログラム参加企業を選定しました。選定にあたっては、これらの社会課題を解決したいという共通認識、解決の実現性、といった観点に主眼を置いています。

本プログラムでは、2018年4月3日から7月12日まで約15週間をかけて、社内外のメンターやアドバイザーから助言と協力を得ながら、プログラム参加企業の応募アイデアの事業化に向けて、共同で取り組んでいきます。

なお、2017年に実施した野村アクセラレータープログラム「VOYAGER」第1期に参加したベンチャー企業5社のうち、株式会社チカクと株式会社PREVENTの2社に対して、野村インキュベーション投資事業有限責任組合による出資を行うなど資金面での支援も行っています。

<テーマとプログラム参加企業>

テーマ1 野村証券:ライフプランの多様化に伴う、資産形成を具体化させるためのサービスづくり	
企業名	応募アイデア
株式会社Z-Works 	<u>家族間コミュニケーションで介護予防、健康寿命延伸</u> 家庭内に設置したセンサーが、単身高齢者の生活異常を検知して子供のスマホに通知することで、親子間のコミュニケーションを促進するとともに、介護予防や健康寿命延伸につなげるサービスです。

テーマ2 野村証券:遊休不動産の有効活用を促すサービスづくり	
企業名	応募アイデア
東京ハース株式会社 	<u>空室問題を解決する賃貸マッチングプラットフォームLive 'n Tokyo</u> コンセプトで集まった賃借人コミュニティにより、日本における賃貸探しに苦勞する外国人や国際環境を求める日本人、空室を抱える不動産オーナーの問題を解決します。

テーマ3 野村証券:テクノロジー、エンターテインメントを駆使した新しい投資・資産形成体験の創出
 テーマに合致する応募アイデアがなかったため採択を見送りました。

テーマ4 野村ホールディングス:経理・財務情報を活用して会社の未来を照らす	
企業名	応募アイデア
株式会社 Cogent Labs 	<u>経理・財務情報を真の意味で経営に利活用するモデル開発</u> AIにより財務情報や非財務情報を分析し、人間ではできない理解や予測を適切に行うことで、現状の財務分析の在り方を変革します。

テーマ5 野村総合研究所:明日のビジネス・働き方をリードできるサービスづくり	
企業名	応募アイデア
株式会社シナモン 	<u>ホワイトカラーに向けた生産性向上サービス</u> 人工知能に関連するプロダクトを通じて、日常的に繰り返し発生する無駄な業務をなくし、人が創造性溢れる仕事に集中できる世界を実現します。

テーマ6 野村不動産ホールディングス:「あしたを、つなぐ」…あなたと考える街づくりと豊かな暮らし	
企業名	応募アイデア
ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 universal sound design®	<u>これまでほぼ手付かずだった「聴覚」のユニバーサルデザイン</u> 話す側から聴こえの改善に歩み寄るといふ、全く新しいカタチの対話支援機器、Comuoon(コミュニケーション)。聴こえに悩む方と、その方と関わる健聴者の間に必要だったサポートをカタチにします。

※アイデアの内容は今後のプロセスで変更される可能性があります。

※野村アクセラレータープログラム「VOYAGER(ボイジャー)」の詳細につきましては、特設ウェブサイト(<http://accelerator.nomura.co.jp/>)をご参照ください。

以上